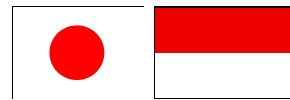


# 簿記を知らない人のための インドネシア工場経営





# 自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援部門
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/8～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

ジェットロ専門家

OBACアドバイザー

AOTSインドネシア経営者研修コース講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会理事

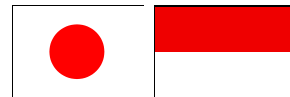
これまでの支援企業数は約100社  
コロナ以前は毎月インドネシアに出張

現在はインドネシアからのニュースや政府発表を毎日インドネシア語でチェックしています

インドネシアとの  
関わりも46年に  
なりました



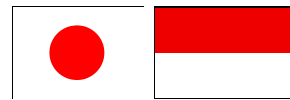
# セミナー要旨



- 多くの中小企業のインドネシア駐在員は製造や技術分野の出身です
- 彼らの多くは経理や税務の知識も経験も無いまま赴任しています
- 日常の経理処理は公認会計士の指導の下で現地スタッフに任せるケースがほとんどです
- しかし、現地法人の責任者としてお金の管理を丸投げするのは危険であるため、最低限の牽制機能は要求されます
- このセミナーでは最低限の牽制機能を果たすために必要な知識を提供します



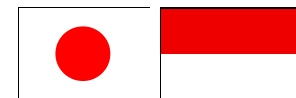
# 目次



1. そもそも簿記とは何か
2. 知らなくても良いこと
3. 知っておくべきこと
4. 普段からチェックすべきこと
5. 製造原価を管理する
6. 経営者としての責任
7. マニュアルか、システムか



# 1. そもそも簿記とは何か

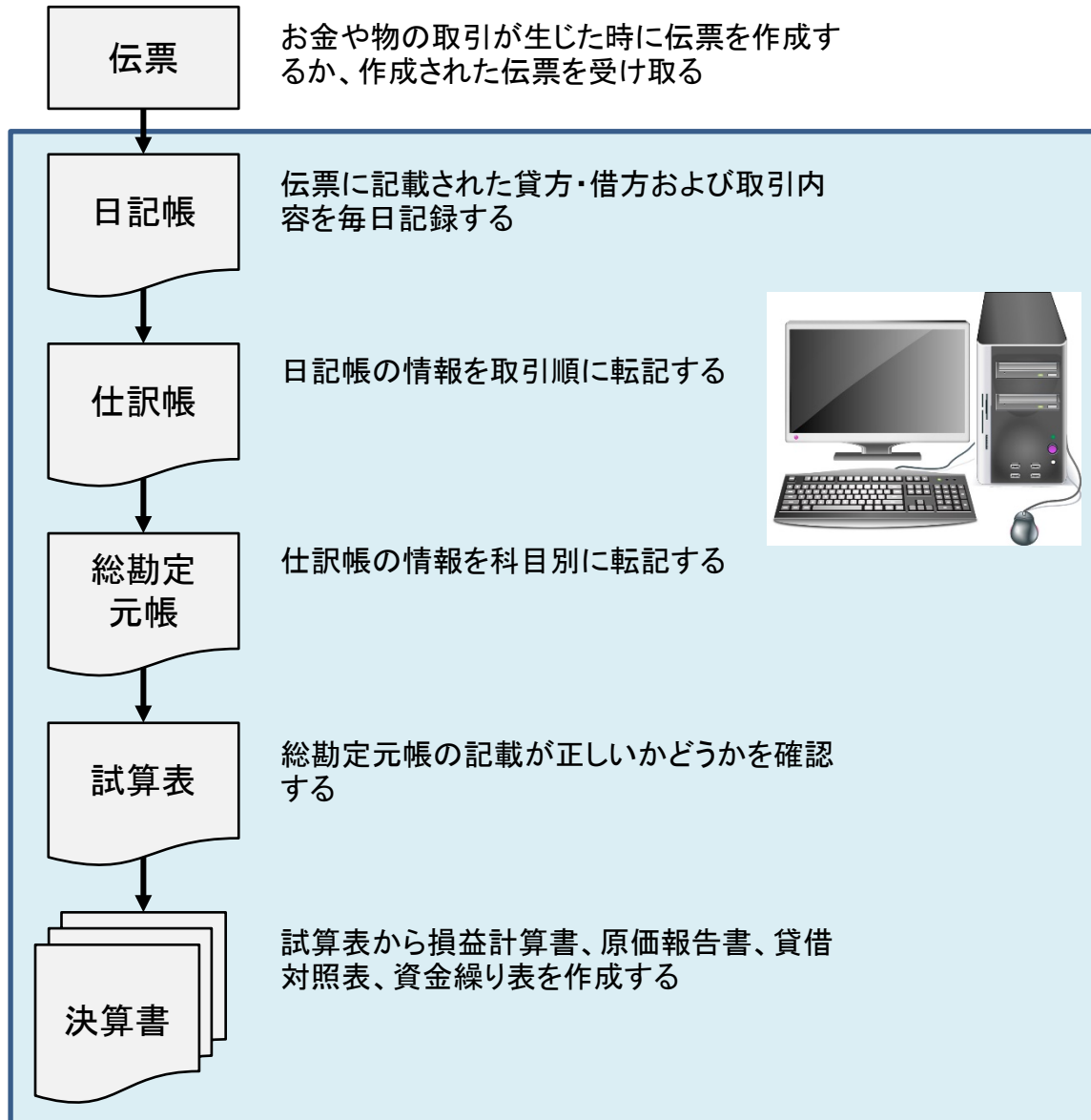
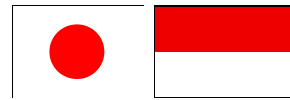


借方(千円)		貸方(千円)		取引内容(お金が動いた理由)
銀行預金	10,000	10,000	資本金	資本金を銀行口座に振り込んだ
商品在庫	1,000	1,000	銀行預金	商品を現金で仕入れた
銀行預金	2,000	1,000	商品在庫	商品を現金で販売した
		1,000	売上利益	
電力光熱費	100	100	銀行預金	事務所の電気料金を支払った
支払給与	2,000	2,000	銀行預金	社員の給与を支払った

- 簿記と称されるのは一般的には貸方・借方からなる複式簿記のことを意味する
- 貸方・借方はお金が動いた取引の原因と結果を表記したもの
- 貸方は原因であることがほとんどで、借方は結果であることがほとんど
- 簿記の道具である会計帳簿には「日記帳」「仕訳帳」「総勘定元帳」などがある
- これらの帳簿を基に最終的にまとめられたのが財務諸表である
- 財務諸表は「損益計算書」「原価報告書」「貸借対照表」「資金繰り表」である
- 損益計算書は販売活動の結果として利益/損失が出る経過を提示する
- 原価報告書は生産活動の結果として利益/損失が出る経過を提示する
- 貸借対照表は月末/年度末における借方・貸方の残高を提示する



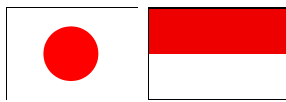
## 2. 知らなくても良いこと



- 全ての取引で伝票が発行されているかが重要
- 日記帳作成から決算書作成までは経理スタッフの仕事
- 経理スタッフが不在の場合は会計士に委託
- 一連の処理はパソコンソフトで対応可能
- 個々の処理について知る必要はない
- 決算書が期限内に提示されることが重要



# 3. 知っておくべきこと「損益計算書」

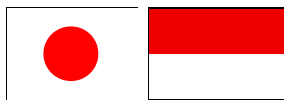


売上	売上原価	製造原価			
		製品在庫増減			
	売上利益	販売・一般管理費	人件費 諸経費		
			営業外損益		
	営業利益		経常利益	法人税	
税引き後利益				配当・引当金	
				当期純利益	

- 経常利益は単月および累計で予算を達成しているか？
- 達成していない場合の以降の対策は？
- 対策は売上高を増やすか経費を減らすのいずれしかない
- その対策で年度末までに予算が達成されるのか？
- それらが5W1Hで関係者に周知されているか
- これまでの対策は進捗が確認されているか
- 以上のPDCAサイクルは回っているか



### 3. 知っておくべきこと「原価報告書」



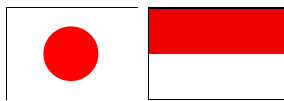
売上原価	製造原価	材料費	直接材料費
			間接材料費
			材料在庫増減
		労務費	
		外注加工費	
		製造経費	
		仕掛品在庫増減	
製品在庫増減			

- 原価は製造会社にとっては自動車の性能と同じ
- 少ない燃料(コスト)で如何にしてパワー(品質)とスピード(納期)を達成するのか
- 材料、仕掛品、製品の各在庫増減が原価を左右する
- 在庫量が正しいことを定期的な実施棚卸で検証する
- 在庫は健全なサプライチェーンの潤滑油
- 在庫ゼロを目指すのは大きな誤解
- 現場のコストダウン実現に必要なものは労使の信頼関係とコストダウン理論





# 3. 知っておくべきこと「貸借対照表」



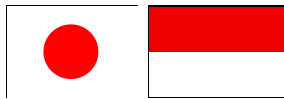
資産合計	流動資産合計	現金 預金	負債資本 合計	負債合計	短期借入金
		売掛金			買掛金
		前払税金			未払税金 他
		引当金 他			
	固定資産 合計	土地 建物 機械 車両 他			長期借入金
					退職手当 引当金 他
無形固定 資産		資本合計	資本金		
			剰余金 他		

- 月末あるいは年度末時点での会社の健康状態
- 一年以内に返済のある負債は一年以内に変動のある資産に対応
- 一年以上変動のない資産は一年以上返済のない長期資金で調達
- 負債合計が資産合計を超えると負債超過で倒産の危機
- 付加価値税の徴収額を上回る納税額は還付対象として前払税金
- 固定資産の減価償却の分類と方法は適切か

分類	耐用年数	対象例	定率償却	低額償却
1類	4年	事務機器、什器	50%	25%
2類	8年	治工具、計器	25%	12.5%
3類	16年	車両、機械	12.5%	6.25%
4類	20年	機械	10%	5%
建物	20年	工場、倉庫	—	5%



# 3. 知っておくべきこと「資金繰り表」

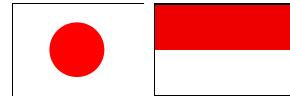


前月繰越金		
経常収支	売上入金	現金売上
		売掛金回収
		手形入金
	仕入支払	現金仕入
		買掛金支払
		手形決済
	営業経費	人件費
		外注費
		地代・家賃
		リース料
		その他
		支払利息
	経常外収支	収入
手形割引		
税金借り受け		
雑収入		
増資		
支出		設備等支払
		借入金返済
		雑支出
		税金支払
翌月繰越金		

- 他の全ての会計処理は発生主義：取引が発生した時点で計上
- 資金繰り表だけは現金主義：現金が動いた時点で計上
- 現金資金は会社にとっては酸素みたいなもので無くなると直ぐに死亡
- 売上があり利益が出ているように見えても現金が無いと、いわゆる黒字倒産
- 先々の翌月繰越金が(－)であってはならない
- (－)の場合は借入金を増やすなどの緊急処置が必須
- 長期に不足する場合は資本金を増やすことも検討
- または売掛金の早期回収や買掛金の遅延を取引相手をお願いする



# 4. 普段からチェックすべきこと



1. 貸借対照表の資産合計と負債・資本合計は合っているか
  - 会計処理が正しければ当然合うはず
  - 手計算などの場合は時として合っていないこともある



2. 小口現金の出納は毎日確認しているか
  - 個別の用途について逐一監視する必要はない
  - しかし運用ルールが守られているかどうかには目を光らせる



3. 銀行残高報告との付き合い合わせ
  - 銀行残高報告＝貸借対照表の銀行残高＝資金繰り表の残高になっているか
  - 今後、現金資金が枯渇する危険はないか

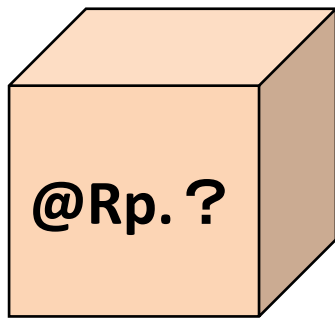
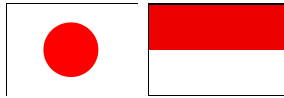


4. 在庫レベルは最適か
  - 在庫はサプライチェーンの上流が止まった時の保険
  - 在庫はサプライチェーンの下流に対する供給保証
  - 在庫は需要と供給の調整結果であり削減が目的ではない





## 5. 製造原価を管理する(個別原価計算)



- 取引契約のための単価が必要
- 製品計上のための単価が必要
- 変数は全て予算に基づく推定値
- 生産数量が変わると差異が出る
- 費用単価が変わると差異が出る
- 作業能率が変わると差異が出る

製品1個を作るための単価＝個別原価計算

製品単価＝材料費＋加工費

加工費＝賃率(Rp/分)×工数(分)

賃率(Rp/分)＝年間直接製造コスト総額(Rp)÷年間直接工投入工数(分)

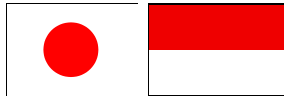
年間直接製造コスト総額(Rp.)＝年間直接人件費総額(Rp)＋年間直接製造経費総額(Rp)

年間直接工投入工数(分)＝一人当り年間稼働時間(分/人)×年間平均直接工人数(人)

工数(分)＝正味工数(分)÷能率(%)＋余裕率(%)



# 5. 製造原価を管理する(総合原価計算)



製造原価	材料費	直接材料費
		間接材料費
		材料在庫増減
	労務費	
	外注加工費	
製造経費		
仕掛品在庫増減		

- 月内あるいは年度内に実際に計上された総費用
- 理想的には個別原価計算の単価×生産数量
- 数量変動、費用変動で個別原価計算との差異発生



- 差異発生の原因を調査分析



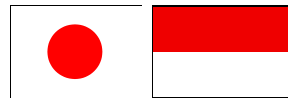
- 個別原価計算の条件を修正
- より正確な製品単価での製品計上
- より正確な製品単価での取引契約



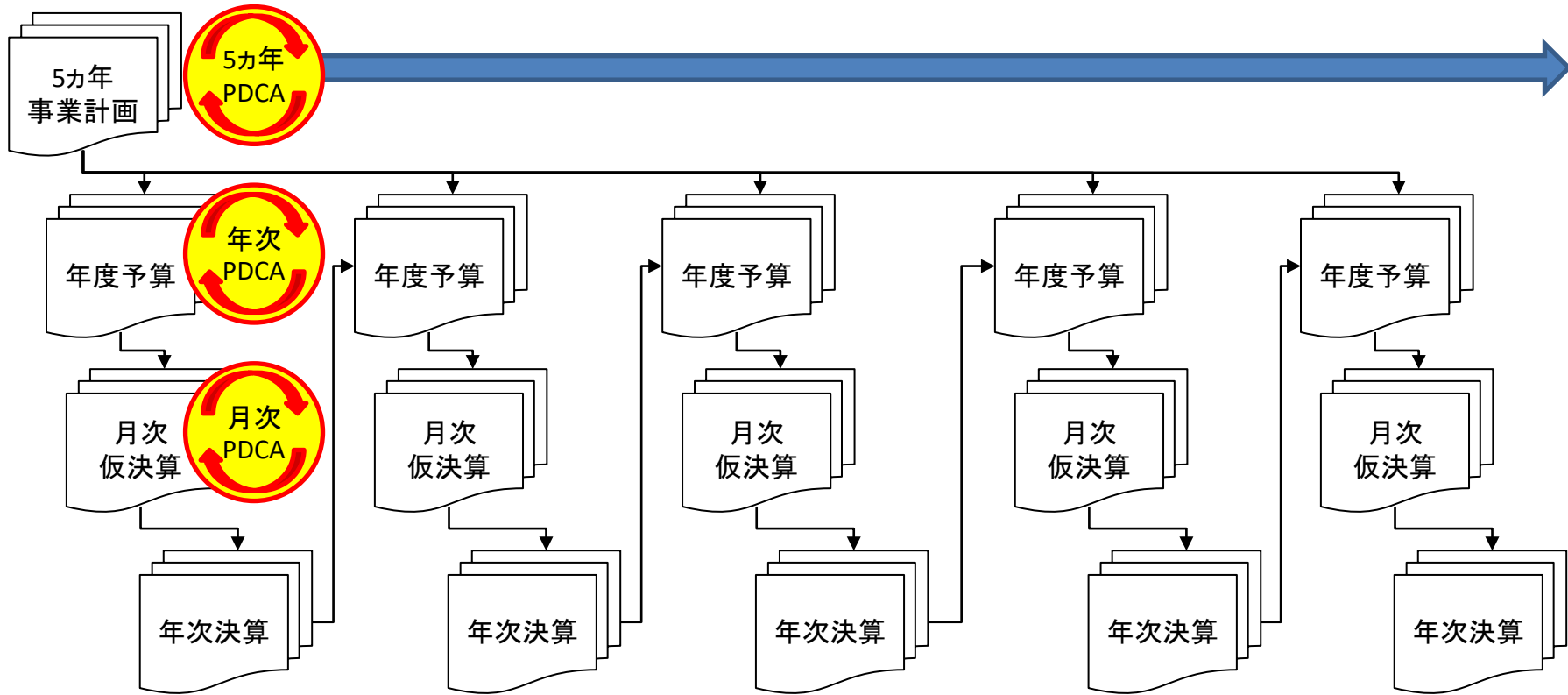
- より正確な損益試算に基づく着地予想



# 6. 経営者としての責任

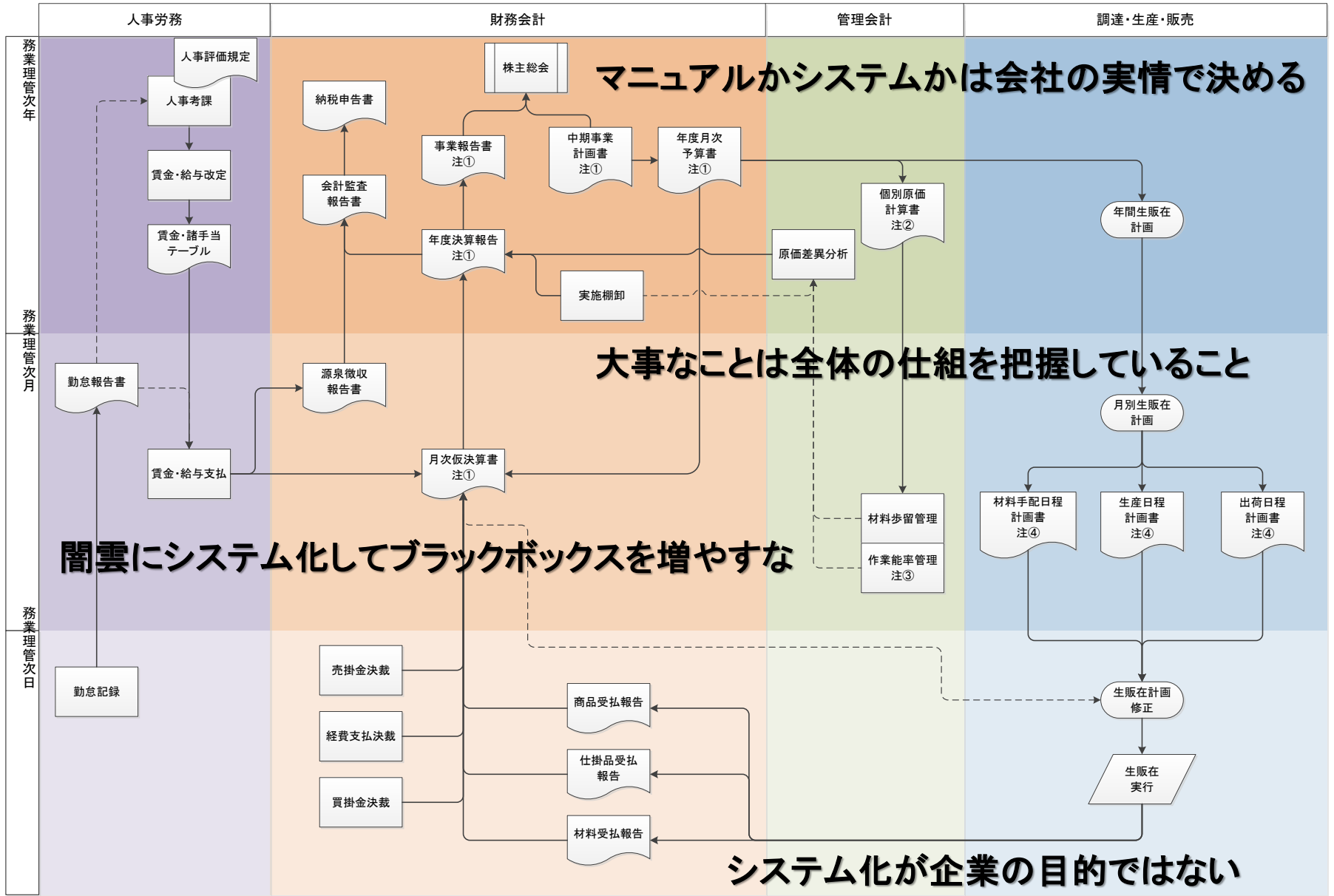
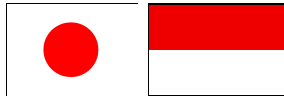


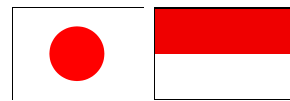
第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
------	------	------	------	------





# 7. マニュアルか、システムか





## インドネシア進出手順要点解説 <http://www.hmkt.jp/>

- インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト

## インドネシア最新情報ブログ <http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/>

- あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

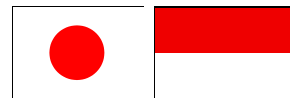
## インドネシアビジネスセミナー <https://abji.hamazo.tv/c724863.html>

- 四半期毎に開催される一般社団法人日本インドネシアビジネス協会の会員セミナー
- 非会員でもオンライン参加が可能
- 2021年度テーマ
  - 3月: インドネシア人材の受け入れ制度大解剖
  - 6月: インドネシアに進出して成功している企業の共通項
  - 9月: インドネシアと日本の新しい関係
  - 11月: インドネシアでのビジネス交渉術

## インドネシア進出ハンドブック

- あらゆる進出形態での事業開始から撤退までのステップを詳細スケジュールと資料で解説
- 45年間のインドネシア事業で得た全ての知見を掲載
- 資料一式を<http://www.hmkt.jp/handbookset.zip>からダウンロード可





ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です